

信頼される次期リーダーを目指して！ ～18人の心が一つになるための活動を考え取り組もう～

1 活動設定の理由

(1) 本学級の児童について

本学級は、第3学年の時に学校が統合し、現在の学級として3年目を迎えている。気持ちの優しい児童が多く、落ち着いた雰囲気の学級と言える。しかし、4月当初には、人間関係が固定化されつつあったり、5分休憩に児童同士の関わりが少なかったりする様子が見られるなど、本音で互いの考えをぶつけ合うことができる関係には深まっていないと感じられることがあった。現在は、学級活動や宿泊学習を通して、児童同士が関わり合う様子が増えたり、学級の中で自分を出せるようになってきている児童が出てきたりするなど、少しずつ変化が見られるようになってきている。

(2) 議題ができるまでと議題の選定理由

4月当初の児童の実態を受けて、学級活動や各教科を通して、児童同士が関わる場を積極的に設けている。学級活動では、「自分たちの学級は自分たちでよりよくしていこう」をテーマに、主体的な係活動の場を仕組んだ。月1回必ず活動の振り返りや来月のスケジュールについて話し合う場を設定することで、主体的に活動する児童が増えたり、他の係と連携してスケジュールを立て活動したりする姿も見られるようになってきている。

また、議題箱を設置し、学級をよりよくしていくために話し合いたいことを投函させるようにしている。話し合いでは、テーマを意識させることで少しずつ発言の苦手な児童も考えを友だちに伝えようとする姿が見られるようになってきた。さらに、7月に行った宿泊学習を通して、児童は協力するよさや友だちを信頼することのよさを学ぶことができ、9月に行ったアンケートでも、「相手の立場に立って考えることができる。」「自分と違う意見や考えを受け入れることができる」の項目で、18名中17名が肯定的な回答をしている。

そこで、今が更なる成長を促すよい時期であると考え、「次期リーダーになるときが近づいている」という刺激を与えることで、視野を学級から学校全体へと広げさせることを目標として、本議題を選定した。次期リーダーとして今あるべき自分たちの姿を考え、活動へとつなげることで、一人一人が自己存在感・自己有用感を高めてほしいと願っている。

2 活動のねらい

18人の力を合わせて達成できる目標を立てて活動することを通して、友だちとのつながりを深め、一人一人の学級での自己存在感・自己有用感を高める。

3 活動の評価規準

集団生活や生活への 関心・意欲	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団生活や生活についての 知識・理解
・こんなリーダーになりたいという願いをもっている。	・アンケート結果を基に、活動について自分の考えを書いている。 ・自分の考えを発言したり、友だちの発言を理解し、思いを受け止めながら聞いたり、それを生かして発言したりしている。 ・目標達成に向けて、課題を考えながら取り組んだり、友だちと協力して取り組んだりしている。	・活動の目標や活動の意義を理解している。

4 活動計画

	活動内容	活動予定	指導上の留意点	めざす児童の姿と 評価方法
事前 の 活 動	・「信頼される次期リーダー」についてのアンケート調査を実施する。 ・話し合う内容について知り、自分の考えをもつ。	・ 9月26日（月） 帰りの会 ・ 9月30日（金） のびのびタイム		【関心・意欲】 こんなリーダーになりたいという願いをもっている。（アンケート） 【思考・判断・実践】 アンケート結果を基に、活動について自分の考えを書いている。 （カード）
本時	・提案理由に沿って話し合いを行う。	・ 10月6日（木） 第5校時	本時の展開参照	【思考・判断・実践】 自分の考えを発言したり、友だちの発言を理解し、思いを受け止めながら聞いたり、それを生かして発言したりしている。（発言・行動観察）

事後の活動	・活動の目標や意義を理解し、役割やきまりについての話し合いを行う。 ・話し合いで決まったことを基に実践する。	・10月7日（金）第6校時 ・話し合いを基に決定する。	・活動の目標や意義から、そのために必要な役割やきまりを具体的に考えさせる。 ・活動を見守りながら、必要に応じて声をかける。	【知識・理解】 活動の目標や活動の意義を理解している。 (発言・行動観察) 【思考・判断・実践】 目標達成に向けて、課題を考えながら取り組んだり、友だちと協力して取り組んだりしている。 (行動観察) 【思考・判断・実践】 自分の考えを発言したり、友だちの発言を理解し、思いを受け止めながら聞いたり、それを生かして発言したりしている。 (発言・行動観察) 【思考・判断・実践】 目標達成に向けて、課題を考えながら取り組んだり、友だちと協力して取り組んだりしている。 (行動観察) 【知識・理解】 活動の目標や活動の意義を理解している。 (アンケート)
	・中間会議を行う。		・事前にカードに一人一人課題を書かしておくことで、解決方法の話し合いの時間をしっかりと確保させる。	
	・中間会議で決まったことを基に実践を繰り返す。		・活動を見守りながら、必要に応じて声をかける。	
	・活動の振り返りを行う。		・振り返りを通して、成果や達成感を実感できるようにさせる。	

5 本時の展開

(1) 本時の目標

○信頼される次期リーダーになるための活動について話し合い、活動目標と達成するための取組について考えることができる。

(2) 展開

議題	信頼される次期リーダーを目指して！ ～18人の心が一つになるための活動を考え、取り組もう～
提案理由	5年生になり、学級会や宿泊学習を通して学級の団結力が高まっています。そこで、信頼される次期リーダーになるために、学級として同じ目標に向かって取り組むことができる活動を考え、友だちと協力しながら取り組み

	ば、更に学級の団結力が高まり、信頼される次期リーダーに近づくのではないかと思います。提案しました。		
話し合いのめあて	※教師の提案を基に児童に考えさせる。		
活動の流れ	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法	
1 はじめの言葉 2 係の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の発表 5 めあての確認 6 話し合い 話し合うこと① ○どんな活動をするか 話し合うこと② ○活動の目標 話し合うこと③ ○達成するための取組 7 決まったことの確認 8 話し合いの振り返り 9 先生のお話 10 終わりの言葉	・担当児童の自己存在感を高めるために、全員で拍手をする。 ・提案者（本時は教師）が提案理由について説明する場を設定し、児童一人一人に話し合いの理由を明確にもたせる。 ・提案理由を基に、本時のめあてを確認し、意欲を高める。 ・事前に自分の考えをカードに書かせておくことで、全員の意見が話し合いの中で議論の対象になるようにさせる。 ・賛成や反対については、必ず理由を発言させ、議論が深まるようにさせる。 ・話し合いの内容が議論からそれた場合には、その場で助言する。 ・活動日だけでなく、中間会議の必要性も考えさせる。 ・決まったことを司会者が伝える。 ・本時の話し合いの振り返りをさせることで、次時の活動への意欲付けや目標をもたせる。 ・司会への肯定的な評価や話し合いの内容に対する肯定的な評価を行う。 ・次時の学級活動に向けての課題を伝える。	【思考・判断・実践】 自分の考えを発言したり、友だちの発言を理解し、思いを受け止めながら聞いたり、それを生かして発言したりしている。 （発言・行動観察）	